



雪谷の清流

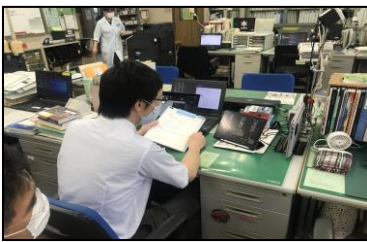
岩手県立軽米高等学校
学校通信 64号
令和3年10月12日発行

・授業始め式 8/18(水)



新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、岩手県独自の緊急事態宣言が発令されている中でしたが、体調を崩す生徒もなく、全員が元気に登校しました。始め式は、夏休み前の納め式と同様に集会形式ではなく、放送により実施され、学校が再開しました。新型コロナウイルス感染症を恐れることなく、当たり前为学校生活ができるようになってほしいと願うばかりです。

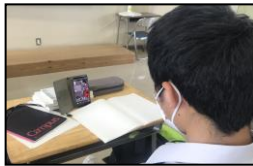
・オンラインでの授業対策（授業等で ICT 活用）8/30(月)



新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、学校閉鎖になり生徒が学校に来られなくなった場合に備え、オンライン(リモート)による指示・連絡、授業を実施できるよう対策を進めました。

「Teams」というソフトを活用し、情報担当の吉田教諭がデモンストレーションで2学年に「リモートによるSHR」を行い、これを参考に全校生徒が自分のスマートフォンやタブレット、パソコンを使い自宅でも連絡を受ける体制を作りました。今後は、リモート授業へ発展させていきます。

まだまだ手探りの状態ですが、オンラインでの生徒の「学びの保障(継続)」を進めていきたいと思ひます。



・卒業生が語る会 8/23(月)



(株)小松製菓で専務取締役を務める日向正勝様(平成3年3月卒業)を迎え、1年生を対象に「卒業生が語る会」を実施しました。

これからコース選択を控える1年生に向け、働くことの意義や社会人として大切なことなどについて講演をいただきました。

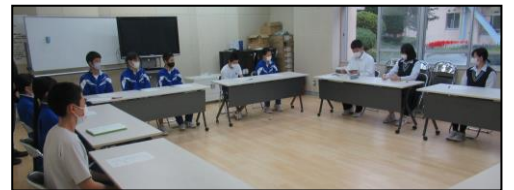
生徒は、仕事がお金を得るだけでなく生きがいや自分の成長に繋がることや他者への心遣いの大切さなどを学び、自分の進路について深く考える機会となりました。



・中高生徒会挨拶運動 9/8(水)

今年度4回目、軽米中学校と軽米高校の生徒会執行部合同事業の挨拶運動が行われました。

それぞれの校門付近にて中高生徒会執行部が分担して「挨拶運動」



に取り組みました。放課後には、反省会を開き次への課題を明確にしました。

特に軽米高校は、新生徒会執行部となって初めての活動になります。初々しさややる気に満ちあふれた「さわやかな挨拶」が交わされました。1日の始まりに「元気な挨拶」を交わすことで、その日一日の爽やかなスタートが切れます！普段から元気に明るい挨拶を心掛けたいですね！

・3 学年進路結団式 9/9(木)



就職、専門学校、短大・大学進学が、
いよいよ本格化します。
校長先生から「自分を支えてくれる
人たちに感謝し、本気で取り組み、自
らの手で合格を勝ち取って欲しい」と
激励の言葉を頂きました。



その後、それぞれの進路、試験に向かう代表生徒が、「進路目標達成」
に向け力強く決意を述べ、熱い思いを込め「だるまの目入れ」を行いました。だるまの右目を入れるまで、
3年生一人一人が進路目標達成に向け心を一つにして取り組んでいきたいと思ひます。

・外務省高校講座(1・2年生) 9/13(月)



1・2年生を対象に「マダガスカルと軽米」をリモートで結んで外務省
高校講座を開催しました。

在マダガスカル日本国大使館一等書記官の片桐啓氏が講師を務め、実際に
働いている現地から、マダガスカルでの
外交官の仕事内容、日本の支援、生活の
様子などについて、映像を交えて紹介さ
れ、後半は、異文化交流や語学学習の上



達方法、進路選択について、経歴や経験を振り返りながら講演していただき
ました。

外務省の仕事の理解、また今後の進路選択へのアドバイス等を頂き非常
にためになる講座でした。

・今夏の様子

夏休み初旬、各学年とも夏季課外が開催され学力強化に努めました。特に3学年は、就職・進学希望者とも
に進路目標達成に向け実力アップを図りました。

課外と平行してこの期間中に1年生は「進路見学ツアー」を実施し、企業見学や大学見学を行い職業観・勤
労観の育成を図るとともに、進路選択に対する視野を広げることができました。



また2年生Aコース27名は7/27~29の2~3日間、**就業体験(インターンシップ)**を実施しました。軽米
町内外の公共機関や事業所20カ所で接客や商品管理、事務仕事や施設管理などを体験し、社会や地域の一員
としての意識や自覚を高め、自己の将来設計・進路選択に役立てました。受け入れていただきました事業所の
皆様、ありがとうございました。なお、この様子は軽米町広報9月号でも特集記事で紹介されています。

